2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報

科目名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）		
ナンバリングコード	L31205	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120563	クラス名	石井研究室
担当教員名	石井　翔大		
履修上の注意、履修条件	江越研究室に配属された学生のみ履修することができます。 将来何を自分の専門分野とするか、自身の目標を見定めながら研究室を選択し、それぞれの課題に取り組んでください。		
教科書	適宜、参考図書を紹介します。		
参考文献及び指定図書	優良図書を随時紹介します。		
関連科目	それぞれの専門分野に関連する全科目		

○基本情報

授業の目的	研究ゼミナールAと同様に、上級生である卒業研究生らと協力して、例えば、フィールドワークに取り組んだり、3次元CADソフトを利用して設計コンペの作品作成に参加したり、文献研究で理解した事柄の具体的な問題演習などに取り組みます。内容は、研究ゼミナールAと比べて高度となります。	
授業の概要	半年間の研究ゼミナールAを終えた後、同じテーマをさらに追求したい場合は、引き続き同じ研究室で指導を受けます。興味や目標が変化した場合は、他の研究室で指導を受けることもできます。 一般的に、ある分野について専門的に学ぶためには、その分野の専門家に接し、自ら専門分野について日常的に取り組むことが大事です。また、3年生の後期という時期は、それまでの努力が実力となって、成果に現れてくる頃でもあります。したがって、研究ゼミナールBは、これまでに増して自主的に参加することが大切です。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「該当しない」
	（3）アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート 」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	江越充：本授業の環境デザインに関する実務経験として株式会社ライティングMIにて照明環境デザインに従事。	

○成績評価の指標 / ○成績評価基準（合計100点）

到達目標の観点	到達目標	テスト（期末試験・中間確	提出物（レポート・作品等）	無形成果（発表・その他）
【関心・意欲・態度】	①自分の専門分野を見つけ出し、問題意識をもつ。		10点	10点
【知識・理解】	②専門分野に関係する資格試験に挑戦する。		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	③具体的なフィールドワークや実験を実践する。 ④設計競技や展示会など、課外活動に積極的に参加する。		20点	20点
【思考・判断・創造】	⑤専門分野への問題意識と探究心を抱くことができる。		10点	5点

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）

原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。

[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）	授業コード	L120563
	担当教員	石井　翔大		

学修内容

1. ゼミナールの準備
研究室活動を始めるための準備をします。まずは、研究環境の整備を行います。原則として、各自座席と収納棚が与えられます。そのうえで、今後の活動内容について話し合います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	（約2.0h）

2. ゼミナール活動の紹介
研究室におけるこれまでの活動を紹介します。今後の活動について考えるための課題を与えます。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	（約2.0h）

3. ゼミナール活動の準備
製図台やパソコン、その他の備品など、研究室・研究設備の使い方を説明します。今後の活動の準備をします。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	（約2.0h）

4. 専門分野の基礎知識
それぞれの専門分野における研究室活動に必要となる専門知識について概説し、問題意識を醸成します。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。	（約2.0h）

5. 研究室活動1
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、見学会などを行います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。	（約2.0h）

6. 研究室活動2
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、講習会などを行います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。	（約2.0h）

7. 研究室活動3
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、研究会などを行います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。	（約2.0h）

8. 研究室活動4
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、討論会などを行います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。	（約2.0h）

○授業計画	科 目 名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）	授業コード	L120563
	担当教員	石井　翔大		

学修内容

9. 研究室活動5
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、共同調査などを行います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	（約2.0h）

10. 研究室活動6
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、合同実験などを行います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	（約2.0h）

11. 研究室活動7
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、フィールドワークなどを行います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	（約2.0h）

12. 研究室活動8
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、データ処理などを行います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	（約2.0h）

13. 研究室活動9
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、分析・考察などを行います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	（約2.0h）

14. 研究室活動10
専門分野に関わる研究室活動を実施します。一例として、プレゼンテーションなどを行います。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し次回のゼミに備えます。	（約2.0h）

15. 前期のまとめ
これまでの研究室活動のまとめをします。

予習	ゼミで報告する内容について各自で調査しまとめます。	（約2.0h）
復習	ゼミで指摘を受けた事項について復習し後期のゼミに備えます。	（約2.0h）

16.

予習		
復習		